

ニレチュウレンジ

7～8月にハルニレなどニレ類の葉を集団で食害するイモムシ（幼虫）。最大長約20mm。体は黄色で多数の黒い斑紋がある。頭は黒い。

市街地のハルニレでまれながら多発する。



1. 終齢幼虫。2000/7/30。札幌市，ハルニレ。

【学名】 *Arge captiva*

【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , ハバチ亜目 (Symphyta) , ミフシハバチ科 (Argidae)

【分布】 北海道，本州。

【生態】

宿主：ニレ属（ハルニレ，アキニレ）

本州では年2回発生し，幼虫は6月と8～9月に出現といわれている。

北海道では幼虫は7月にみられるだけなので，年1回発生かもしれない（要調査）。成虫の出現時期は6月下旬頃と推定される。

落葉中に繭を作って，その中で越冬する。

【被害】

本州では食害による樹勢の低下や枯死が観察されている。年2回発生することと関係するかもしれない。

北海道での被害実態は調査されていない。

【文献】

1977. 奥野孝夫，田中寛，木村裕。原色樹木病害虫図鑑。365 pp. 保育者，大阪。（生態，防除）

ニレチュウレンジ mifusi/nirechu/

kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/24.

yochu.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.